



来週の投資戦略 (4/1-5)

短観 DI 先行きが上向きなら

2024年3月31日

小松 徹

注目事項 — 見所

- 4月1日、3月の日銀短観 — 大企業製造業の業況判断指数 (DI)、先行き改善?
- 4月3日、パウエル連邦準備理事会 (FRB) 議長発言 — 利下げを急がない?
- 4月5日、3月の米国雇用統計 — 平均時給、前年比+4.1%に伸び鈍化?

株式市場見通し

3月18日の週の投資部門別株式売買動向を見て驚いた方も多いただろう。この週は火曜日昼に日銀の政策変更が決定されたが、月曜日には情報漏洩で市場が大幅高した。市場は木曜日にも再度大幅高となった。その主役が証券会社の自己部門と分かった。現物市場で94百億円も買い越したのだ (先物市場の売りはこの16%)。意外にも海外投資家に大きな動きがなかったが、個人投資家が87百億円も売り越していた。8割が現金取引だったことから、日経225が4万円を超えれば売り、3万9千円を下回れば積極的に買う。もちろん、同じ者の売買とは限らないが、個人投資家の多数の行動といえよう。4月は例年海外投資家が買うが、3月中旬以降大きく売り越しているの、すぐに戻るかどうか。

ブルームバーグに寄稿したあるコラムニストは一連の日銀リークに対して国会の調査が必要と述べている。過去の米連邦公開市場委員会 (FOMC) メンバーによる不祥事を紹介し、罰則の導入を求めている。確かに過去数週間の投資家動向を見ると、証券会社の自己部門の買い越しが目立っており、相当な自信を持っていたのだろう。1-3月期の証券会社の取引部門は多額の収益が期待される。植田日銀の今回の手法は黒田日銀とは真逆だが、どちらも極端すぎる。

さて、先週金曜日は米国ではイースターで休場だった。しかし、この日は重要な経済指標2月の個人消費支出 (PCE デフレーター) が前年同月比+2.5%、コア指数で+2.8%と発表され、エコノミストの予想通りだった。サンフランシスコの経済イベントに参加したパウエル連邦準備理事会 (FRB) 議長も予想とほぼ一致したと言っている。ところが、利下げの時期について急ぐ必要はないと、FOMC後の会見とはやや違うニュアンスにも聴こえた。来週の米国市場で投資家はどうか受け止めるだろうか。

最後に、来週予定の経済指標で注目されるのが、わが国では3月の日銀短観、米国では3月の雇用統計だ。短観のDIは製造業、非製造業ともに先行きの数値が前回から上方修正されると見られる。ただし、先週発表の2月の鉱工業生産指数が思いのほか弱かったため、製造業のDIには注意したい。海外投資家の行動にも影響しよう。米国雇用統計では平均時給が前年比+4.1%と前月の+4.3%から伸びが鈍化すると予想されている。そうなれば、インフレ低下には朗報となる。だが、非農業部門雇用者数が予想の前月比205千人増以上の数値であれば、連銀の利下げは遠くなる。

KPA の投資戦略

ロング (買い)	ショート (売り)
好財務の割安株、来期増益株	高PB低位株、高PE新興株

(注) ヘッジ・ファンド向け戦略としての一例。投資期間は半年程度を想定。



本レポートは、情報提供の目的のみでご利用者に提供されるものであり、有価証券売買に関する何らかの申し込みまたは勧誘を意図するものではありません。本レポートに記載されるすべての意見および予測は、レポートの日付時点におけるコマツ・ポートフォリオ・アドバイザーズ(以下、KPA)の判断であって、予告なしに変更される場合があります。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析がすべてのご利用者にとって適切であるとの表明を行うものではありません。ご利用者は、投資に伴うリスクとメリットがご自身にとって適切であるかどうか、自己の責任で判断して頂きます。KPAは本レポートについてその正確性、完全性または適時性を保証していません。KPAはいかなる保証も行わないことを明確にしています。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析にご利用者が依拠した結果として被る可能性のある直接的あるいは間接的な損害について責任を負いません。本レポートについての知的財産権はKPAに帰属し、著作権、特許権、商標権その他の知的財産権に関する法令により保護されています。本レポートを印刷した場合も、その印刷物の著作権は、KPAに帰属します。ご利用者は個人的利用を目的としたバックアップのためにのみ印刷、複製することができます。プリントアウトした印刷物や複製したデータを、個人的利用以外の目的で使用することはできません。ご利用者は、本レポートを、有償・無償を問わず、第三者に提供することはできません。また、これを改変、修正することはできません。本規定にご利用者が違反した場合、KPAは金銭的な損害賠償を含む救済手段を請求する権利があります。